

大正うまれで

大阪育ち

必要なのは

熱意だけです



株式会社 藤井組  
55年の歩み



株式会社 藤井組

本社

大阪市大正区小林東1丁目2番44号  
TEL (06)6551-7307  
FAX (06)6553-2771

阪神事業所

尼崎市東難波町3丁目22番1号  
TEL (06)6488-5757  
FAX (06)6488-5758

55  
年  
の  
歩  
み


**株式会社 藤井組**


# 目次

P03	社長 ご挨拶
P04	企業理念・企業宣言
P05	祝辞 株式会社りそな銀行 副会長 池田博之様
P06	祝辞 株式会社技研製作所 代表取締役社長 北村精男様
P07	会社概要
P09	藤井組の歩み / 創生期
P13	藤井組の歩み / 成長期
P18	藤井組の歩み / 新生期
P22	藤井組の歩み / そして未来へ
P27	部門紹介
P28	現場から見る藤井組の歩み / 2000年以前の現場
P31	2006年
P32	2007年
P33	2008年
P34	2009年
P35	2010年
P36	2011年
P37	2012年
P38	2013年
P39	2014年
P40	2015年
P41	2016年
P42	2017年
P43	2018年
P44	現場から見る藤井組の歩み / 土木事業部門 / 当社元請現場
P47	当社のCSR活動
P49	思い出をたずねて
P51	編集後記

# ご挨拶



株式会社 藤井組  
代表取締役 森 致光

## 株式会社 藤井組 55年の歩み 発行にあたって

平成30年7月24日、株式会社 藤井組は設立55周年という年を迎ました。

本書は先輩諸氏の偉業に感謝するとともに、55年の歴史を振り返り「故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る」温故知新の精神のもと新たな藤井組のスタートを切る為に編纂した記念誌であります。

当社は、ほとんどが親族と社員数名で1963年に大阪市大正区に誕生いたしました。

創業時は小さなプレハブの建物に事務所、代表者、社員にて生活しつつスタートしました。

私も幼少の頃、鉄粉が舞い散る会社の工場に何度も行った覚えがあります。

私は5代目の代表者にあたりますが、現在の社員の約8割は先代の代表者を知らない世代となっております。

私が入社した当時は先代の代表者の下、皆が熱い思いを持って業務に邁進していた印象があります。

今は時代も変わり、業務手法、建設機械、社員の意識等、様々なことが変化いたしました。代表者に就任した際にまず行ったことは、過去への決別、そして無駄と思われる事柄の撤廃でした。

確かに時代の変化とともに変わらなければならないことはたくさんあると思います。

しかし変わってはいけないこと、変えてはいけないこと、そして引き継いでいかなければならないことが、必ずあると思います。これからも変われる柔軟さ、そして変わらない軸を持ち「積極的堅実経営」を旨とし、本業一筋で日本一の専門工事業者を目指し、熱い心で邁進してまいりたいと思います。

冒頭にも記しましたが本書は新たなスタートを切る為と、今、我々がこれから現れてくる後輩に伝えなければならないことを編纂いたしました。

本書が現在、当社に属する社員、また、まだ見ぬ次期代表者、社員の成長、そして株式会社 藤井組の更なる発展の一助となることを願ってやみません。

# 企業理念・企業宣言

我々は土木基礎工事のプロフェッショナルであり  
プロ意識に基づいた営業・管理・施工を行うことにより  
絶えず企業として発展展開していきます。

## 終わりなき改革改善

安全意識、コスト意識、品質へのこだわり、社会・顧客への貢献意識を妥協せず絶えず改革改善を行う。

## 未来企業

この企業に従事する人々が未来に希望を持ち、意欲を持って働く企業環境を構築する。

## 技術企業

既成概念にとらわれず提案、改善、研究開発に取り組み技術力の向上に努め、競争力ある企業として発展する。

## 株式会社 藤井組 企業宣言

我々は企業活動全てにおいて常にナンバー1を目指します。

我々はプロフェッショナル企業として誇りを持ち、美しい仕事をします。

我々は仕事においては妥協せず、自分で限界を定めず、絶えずハングリーに仕事をします。

我々はスピーディー且つ効率的に業務を推進できる判断力、決断力、実行力を養います。

我々は次世代に自信を持って継承していく企業を構築します。

# 祝辞

「仕事に銘を打つ」  
丁寧な仕事の積み重ねが  
藤井組の明るい未来を約束する



株式会社りそな銀行 副会長  
関西経済同友会 代表幹事 池田 博之

森社長をはじめ、藤井組の役職員の皆様、創立55周年、誠におめでとうございます。

藤井組様とりそな銀行とのお取引は、1990年からですから、いまから28年前に遡ります。現在の森社長の先代の時分より、現在に至るまで、りそな銀行は藤井組様の唯一無二のパートナーとして、ずっとお付き合いを続けて頂いております。本当に心から感謝申し上げます。

藤井組様は、土木基礎工事の専門工事会社として、優れた技術と、先を見通した経営により、素晴らしい業績を実現されております。そして、藤井組の皆様の仕事に対する熱意の原動力は、若くしてリーダーとなられた森社長の仕事に対する、プロフェッショナルとしての志の高さにあると私は思っております。

私の好きな「天は自らを助くるものを助く」という、「ことわざ」があります。「他人に頼らず、自立して努力する者には天の助けがあり、必ず幸福になる」というものです。

森社長の実践しておられる「仕事に銘を打て」という高い志のもと、藤井組の皆様の、業界の既成概念にとらわれず、技術力の向上に努め、常に努力を続けられておられます。まさにこの“こと

わざ”を体现している会社であると私は感じおりました。

「終わりなき改革改善」「未来企業」「技術企業」を企業の理念として、絶えずプロフェッショナル集団としての企業の成長を目指し続ける森社長と藤井組の役職員の皆様に、りそな銀行の職員一同、これからも最善のパートナーとして寄り添って行けるよう一層努力していきたいと思います。

最後に、この藤井組の皆様が築かれた素晴らしい文化風土が、しっかりと後世にも引き継がれ、60年、80年、100年、そしてそれ以上と、更なる成長を続けられることを、心より期待しております。

## 祝 55周年に寄せて



株式会社技研製作所  
代表取締役社長 北村 精男

ことに強く感服しております。

また、2000年からはJPA(全国圧入協会)の理事として、また技術委員会の副委員長としても参画戴き、圧入業界全体の発展にもご尽力を戴いておりますこと、感謝を申し上げます。

2003年にはGTOSS(GIKENトータルサポートシステム)に加盟、2016年にはGTOSSメンバーシップGM2認証企業、翌2017年にはGM1認証企業となり、高度な工法を実践する圧入のプロフェッショナル企業として、圧入工法のさらなる普及拡大に向け多大なる貢献を戴いております。

世界規模で深刻化する環境破壊、多発する自然災害、複雑化し老朽化する都市基盤、業界の人手不足など、建設が抱える問題はますます厳しさを増しています。今こそ、旧態依然とした建設業界から脱し、科学に裏付けられ、原理原則に則った「新生建設業界」に転換するときです。貴社とは、その「工法革命」の先頭に立つ同志として、今後とも共に歩んで行きたいと願っております。

次の50年、100年に向け、この信頼関係の充実と、『仕事に銘を打ち続ける』貴社の益々の御活躍と御発展をお祈りして55周年にあたってのお祝いの言葉と致します。

# 会社概要

社名	株式会社 藤井組
本社所在地	大阪市大正区小林東1丁目2番44号
設立年月日	1963年7月24日（昭和38年）
代表者	代表取締役 森 致光（もり よしみつ）
役員	専務取締役 木村 純一 取締役 木村 純子 取締役 柴田 尚紀
資本金	9,300万円
売上高	3,127,576,415円 第55期（2017年7月～2018年6月）
従業員数	66名
事業内容	● 鋼製杭、鋼矢板の施工 ● 上記に附帯する土留工・桟橋工 ● 鉄道関係工事における鋼製杭、鋼矢板の施工 ● 各種水上工事の施工 ● 土木一式工事
建設業許可	国土交通大臣許可 特定建設業 第20960号 土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、 水道施設工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業
事業所・施設	阪神事業所 ……兵庫県尼崎市東難波町3丁目22番1号 第1機材センター ……大阪市大正区小林東1丁目2番44号 第2機材センター ……大阪市住之江区柴谷1丁目地内 社員寮 ……兵庫県尼崎市東難波町3丁目22番1号
加入団体	● 一般社団法人 日本鉄道施設協会 ● 公益社団法人 港納税協会 理事 ● 公益財団法人 海上保安協会 ● 公益社団法人 土木学会 ● IPA国際圧入学会 ● 一般社団法人 全国圧入協会 理事 ● 近畿建設躯体工業協同組合 ● 大阪商工会議所 ● 大阪水上安全協会 ● アルファーシステム工法協会 ● NSエコパイル工法協会 正会員

